

公益社団法人 日本地下水学会
2017年度 第7回 理事会議事録

1. 開催日時：2017年12月9日（土） 13:30～18:30
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-0073 千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：11人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	小野寺 真一	×	理事	川端 淳一	×
理事	坂本 大	○	理事	白石 知成	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	瀬尾 昭治	×
理事	竹内 真司	×	理事	谷口 真人	○
理事	徳永 朋祥	○	理事	中川 啓	○
理事	中島 誠	○	理事	古川 正修	○
理事	町田 功	○			

5. 出席監事数：2人 ○：出席、×：欠席

監事	平山 光信	○	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

2017年10月19日 Conference of Soil and Groundwater Environment (濟州島) における発表の報告 (Groundwater management in Asia for global sustainability) があった。また、2018年に韓国で開催される 45th IAH CONGRESS の案内があった。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 蛭原 雅之

10. 理事会資料

- 資料 1-1 : 2017年度 第7回理事会 議事次第
- 資料 1-2 : Agenda for 2017 International Symposium of Groundwater
- 資料 2 (1種) : 2017年度 第6回理事会議事録 (案)
- 資料 3 (1種) : 企画委員会資料
- 資料 4 (1種) : 行事委員会資料
- 資料 5 (2種) : 渉外委員会資料
- 資料 6 (3種) : 編集委員会資料
- 資料 7 (4種) : 調査・研究委員会資料
- 資料 8 (4種) : 市民コミュニケーション委員会資料
- 資料 9 (1種) : 広報・IT委員会 (当日配布)
- 資料10 (4種) : 若手支援・男女共同参画委員会資料
- 資料11 (1種) : 技術者継続教育委員会資料
- 資料12 (1種) : 会計委員会資料
- 資料14 (7種) : 総務委員会資料
- 資料15 (3種) : 自治体関係

【審議事項】

第1号議案：(資料2)

- ・ 2017年度 第6回理事会議事録 (案) の内容が確認され、承認された。

第2号議案：(渉外：資料5)

- ・ 2018年度JpGUフェローの候補者について、学会から推薦者を出す方針とする。

第3号議案：(調査・研究：資料7)

- ・ 調査・研究グループで審査した新規の調査・研究グループ申請「降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会」について、採択することが承認された。予算については、調査・研究グループのグループ数、調査・研究委員会の全体予算等を踏まえて委員会で上限を定める。

第4号議案：(調査・研究：資料7)

- ・ 産総研からの受託案件3件について、本理事会後に各案件の仕様書の要求事項等を確認し、専門性の観点から当学会が受託する必要があるか確認し、理事会メンバーリストで受託の妥当性を審議する。

第5号議案：(市民コミュニケーション：資料8)

- ・ NPO法人地中熱&地下水資源活用NETからの「第5回トークセッション(岐阜市じゅうろくプラザ)」への講師派遣依頼について、谷口会長の派遣を決定した。

第6号議案：(YEPS：資料10)

- ・ 2018年度の事業計画において、春季・秋季講演会の期間中に子供の保育を必要とする学会員へのサポートを実施し、必要な予算を計上することが承認された。具体的なサポート方法については、委員会にて引き続き検討する。

第7号議案：（YEPS：資料10-2）

- ・ 2018年度の「若手地下水研究助成」では、一次審査（書類審査）と二次審査（ヒアリング審査）を行うことが承認された。

第8号議案：（会計：資料12）

- ・ 次年度予算については、各委員会からの第一次予算案を受けて、①会計委員会で例年の実績を踏まえて修正した第二次予算案を作成、②各委員長が内容を精査して赤字額を過年度の決算と同程度に修正、③会計委員会で最終調整し次回理事会で審議、の手順で決定する方針とすることが承認された。

第9号議案：（総務：資料14）

- ・ 学会員に「ご寄付のお願い」を発送することとし、個人会員は一口3,000円で、特別会員は一口10,000円で一口以上とすることが承認された。

第10号議案：（総務：資料14）

- ・ 入退会員について、承認された。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料3）

企画委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2017年10月5日～6日に実施された「はじめての揚水試験講習会」の開催報告。参加者は18名で、収支は60,151円の赤字であった。現場作業を動画で撮影して講義で用いており、動画データは今後の活用も可能である。
- ・ 2018年5月18日の開催を予定している「山岳地域における水文地質学 ―世界の水資源調達における地下水の重要な役割―」（仮）の計画・準備状況の報告。
- ・ 地下水に関する出版すべき書籍のテーマ・内容の検討状況報告。日刊工業新聞社の「トコトンやさしい」シリーズを候補に委員会内で検討を進める。
- ・ 2018年度企画関連事業の計画案の報告。セミナー「山岳地域における水文地質学 ―世界の水資源調達における地下水の重要な役割―」（仮）、地下水シミュレーション（移流分散）講習会、現場調査（水文調査）講習会、地下水ガバナンスに関するシンポジウムを計画している。

2. 行事委員会（資料4）

行事委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 10月12～14日に実施された2017年秋季大会の開催報告。講演会参加者は131名、シンポジウム参加者は116名、現地見学会参加者は34名であった。

- ・ 2017年秋季大会の若手優秀講演賞受賞者の選定結果。口頭発表2名、ポスター発表1名が選定された。
- ・ 第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会の幹事会報告。研究集会は2017年11月9日～12日に開催され、発表会の全参加者は557名、公開シンポジウム参加者は149名、現地見学会参加者は75名であった。
- ・ 2018年春季大会の日程等。開催場所は埼玉大学、開催日は5月19日、発表申込締切は3月20日、原稿締切は4月16日を予定している。
- ・ 2018年秋季大会の日程等。開催場所は愛媛県松山市、開催日は平成30年10月25日～27日を予定している。

3. 渉外委員会（資料5）

渉外委員長が欠席のため、代理で白石総務委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 日本地球惑星科学連合次期代議員選挙の結果報告。大気水圏科学で谷口会長が、地球人間圏科学で徳永副会長が当選した。

4. 編集委員会（資料6）

編集委員長が欠席のため、代理で白石総務委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 第59巻4号（11月号）の発行状況。
- ・ 第60巻1号（2月号）の編集状況。学会活動報告等の入稿締切は1月22日となっている。
- ・ 誌面改革に関する委員会内の議論の状況。若手ページワーキングの開催結果、資料連載（水循環基本計画関連）、誌面講座（現場新技術）、特集（河川-地下水交流、地熱関係、津波関係）、および地下水関連研究動向のページに関する検討状況が報告された。

5. 調査・研究委員会（資料7）

調査・研究委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 委員会および各グループの開催状況。
- ・ 水循環基本計画対応ワーキングから要請された「自然科学系ワーキング」について、谷口会長をワーキング長として活動を開始する。

6. 市民コミュニケーション委員会（資料8）

市民コミュニケーション委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 10月21日に予定していた湧水めぐりを台風接近のため中止した。
- ・ 来年度の湧水めぐりは、10月21日に中止になった八王子での開催を予定する。開催予定日は2018年10月20日（順延11月10日）。
- ・ 絵本の対応について、バイインターナショナルとの協議状況が報告された。
- ・ 地球環境基金および科研費への申請を行った。
- ・ 新規委員の加入、および長瀬委員の国交省および秦野市からの表彰について報告された。

7. 広報・IT委員会（資料9）

広報・IT委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 学会 HP の保守更新支援契約の契約更新を依頼した。
- ・ 2017 年の HP 修正依頼作業、講演会申し込み返信フォームの修正、行事委員会メールアドレスの廃止等の対応状況。
- ・ 学会 HP へのアクセス状況。

8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）（資料 10）

YEPS 委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 平成 28 年春季講演会での「若手交流会」開催準備の進捗状況。

9. 技術者継続教育委員会（資料 11）

技術者継続教育委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ ジオスクーリングネット掲載行事の状況。

10. 会計委員会（資料 12）

会計委員長が欠席のため、代理で白石総務委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 会員数・会費納入状況・収入・支出（12 月 4 日現在）の状況。

12. 総務委員会（資料 14）

総務委員長より下記の報告がおこなわれた。

- ・ 後援、共催等の報告。後援 2 件、共催 3 件、協賛 1 件の開催状況、開催予定が報告された。
- ・ 公益認定等委員会の立ち入り検査（11 月 15 日 10:00～15:30）に、平山監事、深田監事、白石総務委員長、瀬尾会計委員長、友澤事務局長、細川事務局員で対応したこと、および指摘事項と対応について報告された。
- ・ 各委員会へ 2018 年度の事業計画案および予算案の提出要請があった。

13. 自治体対応関係（資料 15）

蛭原理事より、以下の報告がなされた。

- ・ 自治体意見交換会等の開催予定。
- ・ 安曇野市から研究者照会等の打診を受けたこと、および相談内容。市として新たな研究を立ち上げるにあたり、プロジェクトを指導していただける有識者について照会があった。

以上をもって議事が終了したので、議長は 18 時 30 分閉会を宣した。

【付記】

- ・ 第 4 号議案について、理事会終了後に産総研からの受託案件 3 件について、専門性の観点から当学会が受託する必要性があるか等を仕様書等により確認し、メーリングリストを用いた臨時審議を開催した結果、2017 年 12 月 28 日をもって、受託は妥当であることを全会一致で確認した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2018年2月17日

公益社団法人日本地下水学会 理事会